

安心して生き生きと暮らせるまちに

「誰もが慣れ親しんだ地域で、共に支え合い、安心していきいきと暮らせるまち」。花巻市保健福祉総合計画では、本市の目指す姿をこのように掲げています。市は、その実現を目指し、このたび「花巻市の地域医療ビジョン」と「花巻市高齢者いきいきプラン」を策定しました。

全 国的に高齢化が進む中、医療や介護などの高齢者ケアに対するニーズは年々増大しています。

本市の人口推計では、入院などの医療需要が特に多いとされる75歳以上の人口は、15年後の平成42年にピークを迎えると予想されています。

高齢者人口の増加に伴い、認知症患者などの増加も懸念され、医療や介護に対するニーズはますます高くなると考えられます。

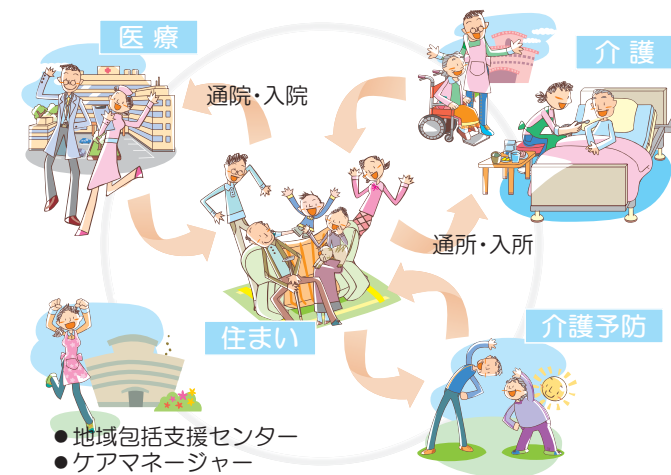
このような中、市内の医療の現状を見ると、これまで中

心的な役割を担ってきた病院の施設の老朽化などに加え、医師や看護師などの人材不足、産婦人科や小児科の不足など、さまざまな課題があり、本市の医療は近い将来に大きな不安を抱えていると言わざるを得ません。

子どもから高齢者まで、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、医療、介護、介護予防、生活支援などのサービスが一体的に受けられることが望まれます。

市は、「花巻市の地域医療ビジョン」と「高齢者いきいきプラン」をもとに市民の皆さんとの協働による施策を進めることにより、地域社会全体で支え合う「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。

●地域包括ケアシステムのイメージ



市は、「花巻市の地域医療ビジョン」と「高齢者いきいきプラン」をもとに市民の皆さんとの協働による施策を進めることにより、地域社会全体で支え合う「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。

■説明会を開催します

「花巻市の地域医療ビジョン」と「花巻市高齢者いきいきプラン」についての説明会を開催します。ぜひご参加ください。

期日	時間	会場
4月21日(火)	午前10時	大迫振興センター
	午後1時30分	内川目振興センター
4月22日(水)	午前10時	外川目振興センター
	午後1時30分	亀ヶ森振興センター
4月23日(木)	午前10時	好地振興センター
	午後1時30分	大瀬川振興センター
4月24日(金)	午前10時	八重畑振興センター
	午後1時30分	新堀振興センター
4月27日(月)	午前10時	八日市振興センター
	午後1時30分	八幡振興センター
4月28日(火)	午前10時	小山田振興センター
	午後1時30分	土沢振興センター
4月30日(木)	午前10時	成島振興センター
	午後1時30分	浮田振興センター

期日	時間	会場
5月1日(金)	午前10時	東晴山多目的研修集会施設
	午後1時30分	田瀬振興センター
5月11日(月)	午前10時	松園振興センター
	午後1時30分	花北振興センター
5月12日(火)	午前10時	花巻中央振興センター
	午後1時30分	花西振興センター
5月13日(水)	午前10時	花南振興センター
	午後1時30分	湯口振興センター
5月14日(木)	午前10時	湯本振興センター
	午後1時30分	矢沢振興センター
5月15日(金)	午前10時	宮野目振興センター
	午後1時30分	太田振興センター
5月18日(月)	午前10時	笹間振興センター

※質疑応答を含め、時間は2時間程度です

花巻市の地域医療ビジョン(概要)

地域医療ビジョン策定の目的

総合花巻病院の施設の老朽化、本院である岩手医科大学附属病院が矢巾町へ移転した後の花巻温泉病院の在り方など、救急医療をはじめ花巻市の地域医療の中核的役割を担ってきた病院が、それぞれに課題を抱えています。

花巻市における医療体制の現状を踏まえて、市民が将来にわたって安心して暮らしていただけるよう、効率的で質の高い医療供給体制を構築するために、将来のあるべき医療供給体制の姿と今後の必要な施策を示すものです。

花巻市の医療の現状

■人口の推移と将来推計

- ▷20年後の平成47年には8万人を割る見込み
- ▷75歳以上は15年後の平成42年にピーク

■花巻市、岩手中部保健医療圏の医療環境

- ▷病院7施設、診療所54施設。稼働病床数は699床
- ▷産婦人科・小児科・耳鼻咽喉科が不足
- ▷中部保健医療圏での入院の完結率は75.3%と低い状態。盛岡保健医療圏への流出が多い

■花巻市の入院患者見込み数と病床の過不足

- ▷病床数の不足が見込まれる

■疾病状況と主要死因別割合の状況

- ▷循環器系・消化器系の疾患が上位
- ▷死因はがんが多く、次いで心疾患、脳血管疾患

■救急医療

- ▷総合花巻病院や花巻温泉病院への救急搬送件数は減少する一方、中部病院は増加

■市内の病院の機能

- ▷急性期に対応する病院は総合花巻病院と県立東和病院のみ。花巻温泉病院は、回復期の病院として対応しているが、二次救急や特殊な疾患にも対応

花巻市の地域医療の目指す姿(施策の方向性)

■花巻市における今後の取り組み方針

- ▷病診連携(※)の普及啓発に取り組み市民の適切な受診行動を促すとともに、花巻市内の中心部において複数の診療科目と入院病床を有する病院(診療所)の確保に取り組みます

- ▷市民が住み慣れた家庭や地域で療養生活を送れるように、保健・医療・福祉の連携に配慮した「地域包括ケアシステム」の構築に努めます

※病診連携…医療の核となる病院と地域の診療所(かかりつけ医)が、必要に応じて患者を紹介し合い、医療の役割を分担する仕組み

■必要と考えられる施策

①救急医療体制の維持・確保

- ▷病診連携の取り組みの推進
- ▷総合花巻病院と花巻温泉病院に必要な応じた財政支援

②医師・看護師などの医療従事者の確保

- ▷市町村医師養成事業の継続と、養成医師の配置先に地域の中核となる私立病院を加えるよう県などに要望
- ▷医療従事者の確保を県に働き掛けるとともに、市も不足する産婦人科や小児科、耳鼻咽喉科の

医師確保に向けた取り組みを実施

- ▷助産師のネットワークの構築など、お産環境の充実に向けた取り組みの実施

③医療機能の整備・充実

- ▷市民に対して、かかりつけ医制や病診連携の仕組みについての普及啓発を推進
- ▷中部病院を中核とする地域医療連携ネットワークシステムの構築を支援
- ▷地域包括ケアシステムの構築の推進

【問い合わせ】健康づくり課(☎23-3121) ●「花巻市の地域医療ビジョン」は、健康づくり課窓口のほか、市ホームページからご覧になれます